

うおづ 市議会だより



祝 魚津のタテモン行事 ユネスコ無形文化遺産登録

平成9年に国の重要無形民俗文化財に指定された「魚津のタテモン行事」が、全国「山・鉾・屋台行事」32件と合わせて、12月1日にユネスコ無形文化遺産に登録となりました。

※カタカナで「タテモン」となっているのは、基本的に語源が明らかで漢字表記できるもの以外は、カタカナ表記をするという民俗学の慣例によるものです。

主な内容

12月定例会審議結果	2～3
常任委員会審査内容	4
代表・個別質問	5～10
常任委員会・特別委員会行政視察報告	11
3月定例会の日程／会議日誌	
行政視察で来市された議会	
議場見学／編集後記	12

No.179

平成29年2月1日発行

平成28年
12月定例会



編集／議会だより編集委員会
発行／魚津市議会

〒937-8555 魚津市釈迦堂一丁目10番1号
☎ 0765-23-1041 e-mail gikai@city.uozu.toyama.jp



うおづ市議会だよりは、「にいかわの守紙」を使用しています。
にいかわの守紙は、新川地区の間伐材を有効活用することを目的として
生み出された紙です。

12月定例会

12月定例会審議結果一覧

議案

番 号	件 名	結 果
第 57 号	平成28年度魚津市一般会計補正予算（第 3 号）	可 決
第 58 号	平成28年度魚津市水族館事業特別会計補正予算（第 2 号）	
第 59 号	魚津市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
第 60 号	魚津市税条例等の一部を改正する条例の制定について	
第 61 号	魚津市農業委員会の選挙による委員の定数条例の全部改正について	
第 62 号	魚津市国民健康保険税条例の一部改正について	
第 63 号	魚津市立学校設置条例の一部改正について	同 意
第 64 号	魚津市有線テレビジョン放送施設の指定管理者の指定について	
第 65 号	魚津市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	

報告

件 名		
議員辞職願の許可	浜住 博之	
各常任委員会などの委員の選任		
議会運営委員会	梅原 健治	松倉 勇
民生委員会	八倉巻 正臣	
地方創生まちづくり特別委員会	八倉巻 正臣	

議員提出議案

番 号	件 名	結 果
第 8 号	少人数学級拡大と教職員定数改善を求める意見書について	可 決
第 9 号	子ども医療費助成制度の法整備を求める意見書について	
第 10 号	高齢者の交通死亡事故防止に関する決議について	

活動報告

開かれた議会へ向けた取り組み

魚津市議会では、政務活動費に関し、平成28年度の政務活動費から政務活動収支一覧表に加えて、領収書の写しをホームページで公開することといたしました。

今後、政務活動費の見える化を図るため、次のことを検討していきます。

- ・ ホームページに公開するもの：視察・研修報告書、出金票等
- ・ 運用指針の見直し
- ・ 後払い方式の導入
- ・ 政務活動報告会の実施
- ・ チェック体制の強化

なお、政務活動費収支一覧表や政務活動費運用指針は、魚津市のホームページからご覧になれます。

12月定例会

12月定例会

12月定例会は、12月 5 日から22日までの18日間の日程で開かれ、平成28年度一般会計・特別会計補正予算や条例の制定など12案件について審議しました。また、任期満了となる魚津市選挙管理委員会委員及び同補充員を選挙しました。

可決した主な議案

補正予算

（単位：千円）

議 案 名 と 主 な 内 容	補正前の額	補正額	補正後予算額
平成28年度魚津市一般会計補正予算（第 3 号）	18,652,523	388,421	19,040,944
・ 魚津市民バス運行費		3,368	
・ 臨時福祉給付金（経済対策分）		106,500	
・ 教育・保育給付費		39,975	
・ 若年移住者賃貸住宅助成事業		4,000	
・ 資格取得助成事業		3,000	
・ 各種土地改良事業負担金補助金		15,040	
・ 全国植樹祭大会 P R 費		1,500	
・ 高性能林業機械導入補助金		14,842	
・ 中小企業設備投資助成金		15,000	
・ ミラージュプールろ過循環ポンプ取替工事費		3,000	
・ 清流小学校冷暖房設備整備工事費		72,000	
・ 大町・村木・上野方・本江統合小学校備品購入費等		16,500	
・ 住吉・上中島・松倉統合小学校木材調達等委託料		14,900	
・ 無形文化遺産登録推進費		3,000	
・ 職員給・退職手当組合負担金		11,793	
・ 国県支出金返納金		30,719	
平成28年度魚津市水族館事業特別会計補正予算（第 2 号）	196,500	810	197,310
・ 職員給・退職手当組合負担金		810	

指定管理者の指定について

施 設	指定管理者となる団体等の名称	指定する期間
魚津市有線テレビジョン放送施設	株式会社新川インフォメーションセンター	平成29年 4 月 1 日～平成34年 3 月31日

人事案件（同意・選挙）

魚津市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
濱多 善克 氏 の選任に同意

魚津市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

委 員 本元 義明 氏、宮本 厚子 氏、加藤 樹永 氏、木下 理佳 氏
補充員 五十井 雄一 氏、平田 昌美 氏、石崎 勉 氏、谷田 葉子 氏

民生委員会

●12月19日
議案第57号、62号の審査
付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計
補正予算について】

Q 認定こども園の実態は。待遇改善に繋がるのか。

A 認定こども園は市内に5園、定員は43名で、12月1日現在26名が入所している。給付費の中に処遇改善相当分も含まれる。

Q 三世帯同居推進奨励金事業の対象になる人はどのくらいいるか。

A 平成28年に15件あった。三世代で暮らすことにより、介護や子育てが家族の中で相互に支援できるものと思っている。



産業建設委員会

●12月19日
議案第57号、61号の審査
付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計
補正予算について】

Q 中小企業設備投資助成金について、どのような業種を見込んでいるのか。

A 製造業と建設業で8件を見込んでいる。

Q 市内のため池の状況は。

A 市内にはため池が19か所あり、そのうち6か所が、重点ため池に指定されている。

落下防止などの対策は、今年度と来年度の2年間で進めたい。



小菅沼地内 ため池

総務文教委員会

●12月20日
議案第57号、58号、59号、60号、63号、64号の審査
付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計補正予算について】

Q 定住・半定住モデル地域育成支援事業は片貝地区のみでいいのか。

A 事業を実施するにあたり市内全地区に説明・相談し、まずは片貝地区で実施することになった。

Q 半定住とは。

A 都会で生活しながら、週末だけを田舎暮らしする方が増えてきている。こういった方に魚津にも来ていただくことを想定している。また、市内の空き家の所有者となり、たてもん祭りなどの行事に合わせて、魚津にお越しになる生活なども想定している。

Q 片貝地区でどんな活動をするのか。

A まずは片貝地区にある空き家や民家などの資源を調査し、地域ぐるみでどういう形で移住者の受け入れが出来るかの検討など5年計画で実施する。

Q たてもんだけでなくジオパークなど魚津の地域資源を紹介して移住に繋げてはどうか。

A 魚津の色々な地域資源について、情報提供していきたい。

Q 清流小学校冷暖房設備整備の設置場所は。

A 現在冷暖房の設置されていない部屋すべてに設置したい。併せて、照明をLEDに替える。

Q 清流小学校は補修工事等していないが、エアコンの効率性など試算されているのか。費用対効果を明らかにしていただきたい。

A サッシをペアガラス等への入れ替えなどの改修費用と電気量削減を比較したうえで、今回はエコ改修等せずに対応する。

公約の3つの挑戦をどのように実現しようとしているのか考えを問う。

石倉 彰 議員
(自民党議員会)

選挙公約の実現について

Q ①小学校1年生からの英語教育、スポーツやふるさと教育の取組みと予算措置について

②交流人口の拡大と外国人観光客の誘致の具体的方法について

③第2子からの保育料無料化、住宅取得・改築助成と企業誘致の整合性について

A 市長 ①今後の英語教育の進め方については、魚津市教育センターを中心に、校長会と協力して「英語教育推進計画」を策定するための検討を始めた。来年度には、英語教育のあり方検討会を立ち上げたい。スポーツ教育については、トップアスリートと触れ合える機会

の創出を推進したい。人的措置や環境整備等にかかる予算措置について、教育委員会と連携をとりながら十分検討していきたい。

②魚津のタテモン行事がユネスコの無形文化遺産に登録された。今後は、魚津の文化や自然のすばらしさを全世界に発信することにより、外国人をはじめとする交流人口の増加に努める。

③すべての第2子を無料

米の生産調整廃止について

Q 国の米政策大転換をどのようにとらえているのか。

A 市長 麦や大豆、飼育用米などの戦略作物を栽培し、水田を最大限活

用する政策の充実を国に求めていくことが重要であると考える。

(その他の質問事項)

・魚津市行政経営方針について

・活性化策について

・魚津駅周辺整備について

・鳥獣被害防止について

公共施設の再編を進めるために、経費の見える化に取り組んではどうか。

浜田 泰友 議員
(しおかぜ)

行政経営方針について

Q ①経常経費の5%削減について

②公共施設の経費の見える化への見解は。

③清流小のエアコン導入について

④公共施設再編の進捗は。

A 市長 ①一般財源総額120億円のうち、義務的経費などを除く10億円を対象に5%削減する。

②現状の資料では、効率的な施設管理について伝えるものになっていない。市民にわかりやすく公表したい。



東部中 エアコン

③東部中のエアコン導入では、前年度より10%のコスト削減につながった。清流小ではそれ以上の削減効果を見込んでいる。なお、断熱化などのエコ

シティプロモーションについて

Q ①方針について

②ホームページのリニューアルについて

③情報発信の統括部門設置について。

A 市長 ①シティプロモーション推進計画を今年度中に策定する。

②来年4月をめどにリニューアルを行う。スマホ対応となる。

③まずは組織内の連携体制を強化していく。

空き家対策について

Q 特定空き家について

A 市長 平成26年度の調査で把握した1千28軒の空き家のうち、68軒を現地調査し、21軒を特定空き家と疑われる空き家と捉えている。このうち特に苦情が多い3軒を空家等対策審議会が協議したが、認定は難しい。

(その他の質問事項)

・子育て支援について

代表質問

新年度予算において長年にわたる地域要望の実現に向けて全力を注ぐべき。

松倉 勇 議員
(雄心会)



平成29年度予算における市内各地区の地域要望と地域振興会へのまちづくり交付金について

Q ①地域要望の実現性は。 ②まちづくり交付金の拡充は。

③区長制度廃止後の状況は。

A 市長 ①毎年、地域から様々な要望をいただき、いかに多くの課題に直面しているかを実感している。限られた予算の中で、優先度を見ながら、可能なものから予算対応したい。

②市民参画と協働のまちづくりを目的に、今年度創設し、13地区に総額4千120万円を予算計上している。新年度の行政経営方針において、特定政策分野の一つとして「主体的な地域づくりと安全・安心な生活づくり」を掲げており、今後は地域の主体的な活動を応援していきたい。



魚津市自治振興会連合会・自治会連絡協議会研修視察

③今年度から区長設置規則を廃止したことに伴い、一部の方に意図が伝わっていないという声も聞かれる。自治振興会連合会と自治会連絡協議会の合同役員会を開催し、率直な意見をいただき、課題も出たので、今後それらを調整しながら、市民の皆様に一層理解を深めていただけるよう努める。

魚津駅・新魚津駅及び駅前広場整備事業について

Q この事業をこのままの案で推し進めるのか否や。

A 市長 都市計画審議会や地区説明会でいただいた声を踏まえ、納得いただける計画となるにはどのような形がよいか、しっかり検討していきたい。

(その他の質問事項)
・ありそドームの使用と宗教団体の関わり方を問う。
・公職選挙法に基づく市選挙管理委員会のあり方を問う。

個別質問

施行から5年が経過した自治基本条例の見直しは、評価・検証し、市民の十分な議論が必要である。

寺崎 孝洋 議員
(民進)



※自治基本条例について

Q ①制定・施行されてきたことについてどう捉えているのか。 ②条例の意義・必要性などについて ③見直しについてどのよう

うな手法で行われるのか。また、その用途は。

A 市長 ①平成27年度に、ようやく市内13地区において地域振興会が立ち上がり、それぞれの地域の特性や実態に応じた様々な取組みが行われてきている。

②現在は制度の移行期で、市民の皆様にも条例の主旨等が伝わっていない部分もあるかと思う。地域振興会と自治会の役割について説明させてい

ただいたが、今後お互いの理解が進むよう、説明の機会を設けていかなければならない。

企画総務部長 ③幅広い連携によるまちづくりを念頭に、先進地の事例を研究していきたい。見直しの際には、市民の皆様の見解も伺いたい。

るのか。



祝賀セレモニー

A 生涯学習・スポーツ課長 「魚津のタテモン行事」の文化的価値が日本全国に広く認識され、世界の宝としての「たてもん」の魅力や価値を市内外に発信する機会を与えられたものと思っている。同時に、固有の文化を後世に繋いでいくための責

任を自覚し、持続可能な仕組みを考える契機でもある。まずは、子供たちにふるさと教育を行うなど、担い手の育成につなげていく。2つ目には、地域の活性化に結び付ける仕組みをつくる。3つ目には、地元産材を使って祭りを持続させる等の取組みができないか考えている。

(その他の質問事項)
・魚津駅周辺整備事業について

個別質問

親の経済状態により、子どもは学習権・教育権に影響を受ける。就学援助の受給者の推移についてどう捉えているか。

岡田 龍朗 議員
(日本共産党)



教育について

Q ①魚津市では、就学援助の受給者、「準要保護者」などの推移についてどう捉えているか。 ②就学援助の「入学準備金」を2～3月に支給す

ることはできないか。

A 教育長 ①小中学校を合わせた準要保護児童生徒の割合は、今年度7.3%で、小学校に比べ、中学校の割合が高い傾向にある。

②児童生徒の新入学にあたり、ランドセルや通学用カバン、制服、靴等の購入費の一部を援助している。小学生が2万470円、中学生が2万3千550円で、入学後の1学期末に支給している。2～3月の支

魚津駅南駐車場について

Q ①駐車場規模に対応する有効的な活用はできないか。 ②冬期間、通勤者などへのサービスとして低料金で利用することなどできないか。

A 環境安全課長 ①長期駐車車の減少により、全



魚津駅南駐車場

体の約30%、60台ほどのスペースが空いている状況である。現在増加している通勤者等の利用台数を注視しながら、飲食店やホテル等の利用者のニーズを調査するとともに商

魚津駅周辺整備計画の投資対効果を明らかにすべき。

越川 隆文 議員
(自然堂)



魚津駅周辺整備計画をより魅力的なものに

Q 4年ほど前から本整備計画の投資対効果を明らかにすべきと指摘し、本年6月議会でも整備計画の見直しを提議したところである。21億円以上の投資に対して利便性の

向上だけで本当に人の集まる拠点になるのか？県は何故投資しない？市役所の併設案はどうなったのか？海側に抜ける道路の確保は万全か。

A 市長 市民アンケート調査で両駅の一体化を望む声が多くを占め、魚津市公共交通活性化会議等で検討を重ね、現在の計画を立ててきた。地区説明会等で生の声をいただき、よりよい計画とすべく検討していきたい。

下水道溢水訴訟について

Q 平成25・26年の2度にわたり下水道の逆流により商店店舗への溢水被害が発生した。平成26年度12月議会において、魚津市側の対応について質問し、何の落ち度もない被害者に自治体が直接向き合うべきだとの指摘をしたにも拘わらず、2年以上も被害者救済措置が放置されてきた現状を改めて問う。

A 上下水道局次長 市

と被害者との間で損害補償の交渉を行い、顧問弁護士へ相談するなど解決に努めてきたが、平成26年11月に和解に向けた示談交渉を市の顧問弁護士へ委任した。交渉を重ねてきたが、和解に至っておらず、平成28年10月に損害賠償請求の訴状が市へ届いたところである。裁判を通じ解決を図って

(その他の質問事項)
・公共施設再編方針について
・魚津駅周辺整備計画と市庁舎の改築について
・立地適正化計画について

・カジノ法案について
・人口減少対策について
・英語教育について
・新川インフォメーションセンター指定管理について

(7) ※ 就学援助：学校教育法に基づき、経済的な理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して要綱を定めて経済的援助を行っている。

※ 魚津市自治基本条例：市民自治の確立を目指して、市民・議会・市が、それぞれの役割分担の中で持てる力を発揮しながら、(6)人々が幸せに暮らせるまちを創っていくために、平成23年9月に県内市町村に先駆けて制定した。

小学校統合後の放課後の子どもの安全や教育について、今後の方針は。

金川 敏子 議員
(自民党議員会)



児童センターと放課後
学童保育について

Q ①市内の児童センターと放課後学童保育の現状について
②小学校統合後の課題及び課題解決に向けた計画について

A ①こども課長 ①市内には、5つの児童センターがあり、平成27年度は、7万2千人余りの利用でその内約5万人が学童保育の利用者となっている。児童センターのほか、6つの地区公民館においても学童保育を実施している。

公民館を利用し、新たに学童保育を開設した。片貝公民館の学童では、学校から移動に時間を要し、学童での時間が短くなったため、通年利用者が6月からいなくなった。一方、夏休みなど、従来どおり利用者があるため、支援員の確保に苦慮している。ひばり児童センターでは、利用定員を超えており、低学年を優先的に受入れている。

平成30年度には、大町・村木・上野方・本江がよつば小学校として統合されるが、こぼと児童センターが平成29年度末に閉館予定で、村木には学童がなく、つばめ児童センターはひばり同様、定員を超えている。上野方公民館までの移動には、何らかの対応が必要と考えらる。

A ①民生部長 県内では4市町が、千〇二〇円の公費助成を実施している。県事業の子育て応援券が多数インフルエンザ予防接種に利用されている。他市や予算状況も見ながら検討していきたい。

(その他の質問事項)
・魚津市の障害者雇用について

行方不明になった認知症高齢者の、捜索や見守りのネットワークづくりを拡大し、構築していく考えはないか。

中瀬 淑美 議員
(公明党)



認知症対策について

Q ①認知症初期集中チームの設置に向けての進捗状況について
②認知症ケアパスの利用状況について
③メールサポーターとして

個人の方に登録いただき、捜索や見守りのネットワークづくりについて
A ①民生部長 ①チームは医師や保健師などの専門家により構成され、スタッフの体制が整い次第、今年度末までにはチームを配置し、相談に早期に対応できる体制を整備する予定である。

要支援1・2の方を中心に配布していきたい。
②医療機関、介護支援専門員、関係機関を中心に約150部を配布し、利用してもらっている。今後は、



公共施設再編方針の推進について
Q ①公共施設再編方針の進捗状況及び方針策定時に算出された維持管理費用の見直しと年度更新はどのように行っているのか、資産維持データの一元的・総合的に更新されているのか。
②複式簿記、発生主義の公会計制度の導入について

A ①市長 ①再編方針の策定に当たっては、平成

26〇90年度の65年間を期間として、施設再編の効果を算出している。維持管理費の削減額を、市民の皆様によりわかりやすくお知らせできる方法を検討し、状況を毎年度示していきたい。
②財産台帳をはじめとする財務書類等を整備し、財務諸表等に基づきマネジメントに役立てたい。

(その他の質問事項)
・食品ロスの削減への取り組みについて

道下小学校前の市道について、道路の拡幅など具体的計画はあるか。

八倉巻 正臣 議員
(雄心会)



道下小学校の前の市道について

Q 歩道も狭く白線も消え、危険度が増している。道路の拡幅など具体的計画はあるか。
A 産業建設部長 この市道は、車道幅員が6〇

7mあるが、歩道が一部の区間にしかなく、幅員も1.5mと狭い。一方通行の規制も、下校時には解除されており、歩きづらい状態である。拡幅には用地取得や物件補償が必要で、現実的には家屋が連担しており、実施についてはかなりハードルが高いと考える。

早月川緑地について
Q 現在の状況と今後の対策について
A 産業建設部長 早月川緑地は、昭和56年度に着工し、平成7年、平成11年、平成14年と順次供用開始を行ってきた。施設としては、多目的広場、ソフトボール広場、バレーボール広場、テニスコート、ゲートボール場などを整備し憩いの広場、スポーツを楽しむ場として開放している。施設によっては、完成から30年余りが経過しているものもあり、施設全体が老朽化し



早月川緑地トイレ

ている状況である。林間広場は、草木が伸び、テニスコートは、ネットが一部破れている箇所もあるが、危険性の高いところから優先的に対応している。補修等が滞っている状況である。トイレは、設置年数が古く、大会時の多人数の利用には支障をきたす規模となっている。今後の対策は、必要に応じて修繕を行い、良好な維持管理に努めるとともに、施設の利用状況や利用者の意見等を聞き、施設のあり方、見直し等についても検討していきたい。

(その他の質問事項)
・タテモン行事について

公共施設再編計画には平成35年に市庁舎の統合と建設が挙がっているが、準備期間をどのくらいと想定されているか。

石崎 一成 議員
(しおかぜ)



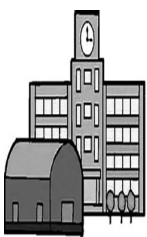
新庁舎建設に向けての展望について

Q ①公共施設再編計画には平成35年に市庁舎の統合と建設となっているが。
②民間活力の利用や複合

施設化は視野にあるか。
A ①市長 ①市庁舎は災害防災拠点として重要な役割を持っており、現在の庁舎では不十分である。年度内にワーキングチームを立ち上げ、参考資料の収集、防災を含めた必要な機能や整備手法の研究を進めたい。

市庁舎の窓口業務について
Q 今後、ワンストップ化を目指すことが適と考えられる窓口を選定し、業務の系統化を図ることができるか。
A ②副市長 各課内の業務担当がそれぞれ連携して対応している。今後とも、他の自治体の事例についても調査研究を行い住民サービス向上に努めたい。

学校活用について
Q ①地域要望の収集の現状は。
②当局で対応できる内容や他自治体の事例などを含め、総合的に意見交換する体制は作れるか。
A 企画総務部長 ①公民館機能の移転や放課後児童クラブの開設、災害用備蓄品の保管など地域



の拠点施設として活用することを素案とし、小学校の統合計画に合わせ、順次、各地区の代表の方々と意見を出し合いながら進めている。
②これまでは法律的な制限や専門知識の及ばない部分がありアイデアの幅が限られることがあったが、今後は色々な場合を想定しながら広い視野で情報を収集することを検討したい。



労働者健康安全機構にて

- 【日程】
10月24日～26日
- 【視察先及び視察事項】
- 労働者健康安全機構（神奈川県川崎市）
 - 富山労災病院についての意見交換
 - 東京都港区
 - 複合福祉施設「HUG高輪」について
 - 静岡県掛川市
 - 地域健康医療支援センター「ふくしあ」について
 - 静岡県藤枝市
 - 健康・予防日本一ふじえだプロジェクトの取り組みについて

- 【日程】
10月25日～27日
- 【視察先及び視察事項】
- 日本橋とやま館（東京都中央区）
 - 首都圏情報発信拠点の取り組みについて
 - 中板橋商店街（東京都板橋区）
 - 「うおづや」の取り組みについて
 - 茨城県石岡市
 - 駅周辺整備事業について
 - 長野県佐久市
 - 商店街活性化の取り組みについて



佐久市にて



石岡市にて



栗山町にて



西野こども食堂にて

- 【日程】
11月23日～25日
- 【視察先及び視察事項】
- 西野こども食堂（北海道札幌市）
 - こども食堂について
 - 北海道栗山町
 - 議会改革について
 - 札幌市立資生館小学校（北海道札幌市）
 - 都心部子ども関連複合施設について
 - 北海道千歳市
 - 防災学習交流センター「そなえる」について



町田市にて



佐倉市にて

- 【日程】
11月7日～8日
- 【視察先及び視察事項】
- 千葉県佐倉市
 - ファシリティマネジメントについて
 - 東京都町田市
 - 市庁舎の整備について



魚津市役所委員会室にて



魚津市議会議場にて

- 【日程】
10月31日～11月1日
- 【意見交換会】
- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - 市民の声を聴く会について
 - 食でつなぐ魚津の観光と自然環境について
- 魚津・井原市議会
友好親善交流事業

民生委員会

産業建設委員会

総務文教委員会

特別委員会
行政視察報告

公共施設再編整備

議員活動報告



飛世 悦雄 議員
（社民党議員会）

行政経営の基本的な姿勢について伺う。

- 行政経営の基本的な姿勢について
- Q ①市民との協働において、地域振興会の実態をどのように捉えているのか。
- ②企業との協働について、具体的な施策を問う。
- A 市長 ①地域振興会の設立により、自治会や自主防災組織、防犯組合、地区社会福祉協議会など各種団体を統括して、市民主体のまちづくりを行う体制が整い、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を持った方が増えた。各団体が個別に課題解決するよりも、連携・協力していくことで地域の要望により的確に答えることができるようになった。
- ②企業には、これまでも

の設立により、自治会や自主防災組織、防犯組合、地区社会福祉協議会など各種団体を統括して、市民主体のまちづくりを行う体制が整い、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を持った方が増えた。各団体が個別に課題解決するよりも、連携・協力していくことで地域の要望により的確に答えることができるようになった。

②企業には、これまでも

災害協定や地域見守りネットワークなど貢献していただいているが、今後さらに、企業の強みを活かして、魚津市のイメージアップや振興会活動への協力、人材育成などに活用できないかなど検討してみたい。

Q ①地産地消対策として地場産比率の目標値と実態を問う。

②高騰続く野菜価格の対応、給食の献立について

A 学校給食センター所長 ①平成27年度の魚津市産の青果物の使用率、地場産率は38.4%となった。米、卵は100%魚津産であり、今後も地場産食材を多く使用した給食を通して、子どもたちが生産者への



学校給食 たてもん汁

対応を問う。



水田 万輝子 議員
（自民党議員会）

松倉地区の金山周辺を観光スポットとして整備する考えはないか。

- 山間部の整備について
- Q ①金山等の観光地整備について
- ②里山保全活動に取り組んでいる団体等への支援
- A 産業建設部長 ①松倉地区には、三つの金山

が確認されている。観光客が訪れるには大変困難な山間部に位置し、受入れには適さない環境で、整備には、膨大な経費が掛かるものと想定される。観光資源としての活かし方は、地元と協議しながら検討していきたい。

農林水産課長 ②県税である「水と緑の森づくり税」を財源とした「水と緑の森づくり事業」を活用し支援している。魚津市では、平成19～27年度

に、延べ31地区、約171haの里山林整備を進め、地区毎に市民の皆様に参加していただいた。団体設立の支援や機材の貸付などを行っており、地域振興会などとも協力し、ぜひ活動を続けてほしい。

高齢者運転免許返納支援事業について

Q 高齢者運転免許返納支援事業状況とその拡充について

A 環境安全課長 平成23年度から「高齢者運転免許自主返納支援事業」を行っている。市内高齢者で、警察に免許証を自主的に返納された方に、市民バスの利用券がタクシー利用券を交付するもので、これまでに330人が利用された。65歳未満でも運転に不安を感じる方に適用するため、年齢制限の撤廃を検討している。



魚津市総合体育館

に伴う今後の方針

A 市長 廃止した場合、大きな影響があると考えられ、各種競技大会の開催状況等を精査するとともに、ありそドーム、統合後の旧小学校体育館等の代替措置について検討したい。

平成29年 3 月定例会日程

3 月	2日(木)	10時	本会議（提案理由説明）
	9日(木)	10時	本会議（代表・個別質問）
	10日(金)	10時	本会議（個別質問）
	13日(月)	9時	予算特別委員会
	14日(火)	9時	予算特別委員会
	16日(木)	10時	民生委員会
		13時30分	産業建設委員会
	17日(金)	13時30分	総務文教委員会
	22日(水)	13時30分	本会議（討論・採決）

議会中継を見よう

生中継 → インターネットで見える（生中継のみ）
 魚津市HP → 映像ライブラリー → 議会中継

→ NICE TVで見える 092CH

再放送 → NICE TVで見える 093CH

バーコードリーダーで読み取りできます⇒



会議録の検索をしよう

魚津市 会議録 → 検索

バーコードリーダーで読み取りできます⇒



弔電を自粛しています

市議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。



● 経田小学校6年生
 【税金探検団】
 （11月22日）
 議場見学

会 議 日 誌

11月	2日	産業建設委員会
	7日～8日	公共施設再編整備（特）行政視察
	11日	地方創生まちづくり（特） 議員協議会
	18日	各派代表者会議 議会運営委員会
	22日	議会運営委員会
	23日～25日	総務文教委員会行政視察
	29日	公共施設再編整備（特）
12月	5日	議会運営委員会 本会議（提案理由説明） 全員協議会
	13日	議会運営委員会 本会議（代表・個別質問）
	14日	本会議（個別質問） 各派代表者会議
	19日	民生委員会 産業建設委員会
	20日	総務文教委員会 議会運営委員会 公共施設再編整備（特）
	22日	本会議（討論・採決） 各派代表者会議 議会だより編集委員会 地方創生まちづくり（特）
1月	16日	各派代表者会議 議員協議会 議会だより編集委員会

※（特）は特別委員会

行政視察で来市された議会

- 【くすのき広域連合議会（11月10日）】
・介護保険事業の実施状況等の調査・研究
- ・新総合事業の取組について
- 【宮崎県日南市（11月15日）】
・市民バス運行事業
- ・岡山県笠岡市（11月24日）
・認定こども園について
- 【北海道釧路市（1月11日）】
・市民バス事業再構築活性化プログラムについて

編集後記

昨年は話題の多い一年でした。

富山湾が世界で最も美しい湾クラブに加盟しました。東京の看板橋商店街に、魚津の食と情報発信の場となる「うおづや」食堂がオープンしました。そして、魚津のタテモン行事がユネスコ無形文化遺産に登録。パラリンピックでは、魚津市出身の藤井友里子選手が銀メダル獲得。

今年5月28日に「第68回全国植樹祭」が桃山運動公園で開催されます。これからも地域に根ざして、先目を向けていこうと思います。（M・M）



【議会だより編集委員会】

委員長	松倉 勇
副委員長	石崎 一成
委員	廣田 俊成
	岡田 龍朗
	林 久嗣
	水田万輝子